

Mission Statement

● これからの外国語教育のために

科学としての言語教育研究に基礎を置きつつ、同時にその成果を実践的な教材開発と教授法改革に生かすことのできる従来になかった教育者、研究者を養成します。

Admission Policy

博士課程前期課程においては、理論と実践のバランスがとれた高度職業人を育成することを目的としています。従って、この目的を十分に理解し、学際領域としての外国語教育学の確立を指向し、国際化に対応できる外国語教育を展開できる人材を、出身大学、学部、学科を問わず、国内外に広く求めています。また、外国語教員のリカレント教育もその使命として、意欲ある現職教員の参加を強く求めます。

博士課程後期課程においては、外国語教育学の研究者・指導者を養成することを目的としており、高度な授業実践能力や外国語運用能力を前提として、研究の面で国際的に活躍のできる競争能力を持った人材を、国内外に広く求めます。外国語教育の指導的立場になる人と言う観点から、また専門分野の文献を外国語で多量に読むことから、研究対象とする外国語の高い運用能力を身につけている人を求めます。

外国語学習・習得理論に基づく授業研究の実践	情報化社会にふさわしいメディアを利用した外国語教育の展開	認知的アプローチからの外国語学習メカニズム・言語体系の究明	高度な外国語運用能力の育成	地域文化の知識と理解に裏打ちされた異文化対応能力の養成	現職教員に対するリカレント教育の実施
-----------------------	------------------------------	-------------------------------	---------------	-----------------------------	--------------------

■ **カリキュラム**
外国語教育学とその関連分野を網羅しています。

■ **教員組織**
外国語教育学の第一線で活躍する教育・研究者で構成しています。

■ **履修形態**
昼夜開講制度、長期在学制度など、多様な選択肢を提供しています。

■ **現職教員1年制コース**
高度な能力を有する英語教員の養成を目的とした、1年間で修士号を取得できるコースです。現職の英語教員やその経験者であって、英語教育に関わる業績が顕著な方を対象に募集します。出願資格等の詳細は学生募集要項をご覧ください。

■ **設備**
大学院棟（尚文館）に年間を通じて24時間使える学生専用の研究室（修士学生用、博士学生用、合同研究用）が3室提供されており、コンピュータも完備されています。その他、オンラインジャーナルなど図書関係設備も国内屈指です。

Areas of Study

外国語教育実践学	外国語教授法、学習者理論、言語習得過程を、研究と実践を通して検証していく領域です。
外国語教育教材・メディア学	外国語教育の実践を支える教材やメディア環境の開発、およびその利用法を研究する領域です。
外国語分析学	教授・学習の対象となる外国語の分析と体系化を指向する領域です。

Students & Alumni



住 政二郎

流通科学大学准教授 博士課程後期課程修了(博士号取得) 東京都立大学大学院から進学

「外国語教育におけるテクノロジー利用」を研究のテーマに、徹底した議論を指導教員と繰り返し、博士論文を執筆しました。研究科では、学びの機会だけではなく、自らを活かす機会にも恵まれました。学内外、そして専門性を越え、本研究を通して培うことのできた人的ネットワークは、大きな財産になっています。

藪越 知子

日本大学経済学部助教 博士課程後期課程修了(博士号取得) 関西大学大学院博士課程前期課程から進学

先生方の熱意溢れる講義を受け、毎回自然なゼミに参加し、外国語教育学という学問の大切さとおもしろさ学びました。また、図書館や研究室などの設備が充実しており、快適な大学院生活を送ることができました。現在、関西を離れていますが、本研究科は同窓生のネットワークが発達しているので、修了後も先生方や仲間との交流が続いています。



井上 亮

鉄製品メーカー(営業職) 博士課程前期課程修了 関西大学文学部から進学

外国語教育学研究科を修了して感じた魅力は、思考法を身につけられたことです。多彩な教授陣、先輩、同僚との対話により、自分の視野を広げることができ、物事の捉え方が広く、考え方が深くなりました。外国語教育学研究科で学ぶことで、自分の志となる何かを身につけられると思います。

塩田 紗矢佳

神戸市外国語大学大学院博士課程後期課程へ進学 大学非常勤講師 博士課程前期課程修了 京都外国語大学から進学

この研究科には、第二言語習得論をはじめ、外国語教育について理論と実践の両面から研究を深められる環境があります。私はここで、よき師、よき友人に恵まれ、日々の対話の中で専攻言語の枠をこえて、物理学の基本を教えられました。今後は、スペイン語の教員として現場で学生たちに外国語学習の魅力語りながら、さらなる研鑽を積んでまいります。



芦 媛媛

中国・仲恺農業工程学院専任講師 博士課程前期課程修了 中国・西安外国語大学から進学

より良い外国語教育を目指し、外国語教育界をリードする優れた研究者の方々がおられる本研究科に進学を決心しました。先生方の講義を通して、外国語教育学の魅力を感じながら、自分自身大きく成長を遂げたように思います。日本語教員として、この研究科から与えていただいたすべてに心より感謝しています。

Competitive Research Grants



2005～2007年度
文部科学省 英語指導力開発ワークショップ事業採択

文部科学省委嘱「英語指導力開発ワークショップ」とは、将来、英語教育において指導的な立場を担うことが期待される中学・高等学校の教員を対象に、ワークショップを通して、その総合的な教師力の向上を図ることを目的とする事業です。本研究科は2005年度より3年連続でこの事業に採択されました。本事業の成果は教員養成GPにも引き継がれ、研究科と教育現場を「ひと」を通してつなぐ新たな「学び」のスタイルを生み出しました。文部科学省の事業が終了した現在でも、このワークショップは、関西大学の提供する教員免許更新講習の一環として継続されています。



2005～2006年度
文部科学省 教員養成GP採択

文部科学省「資質の高い教員養成推進プログラム(教員養成GP)」とは、資質の高い教員を養成するための教育内容・方法の開発・充実等を行う特色のある優れたプロジェクトに対して、重点的な財政支援を行うプログラムです。本研究科は、外国語教育関係では唯一この事業に採択されました。採択されたプログラムは国内外から高く評価され、GP終了後の現在でも、外国語教育学研究科・英語教育連携センター(e-LINC)として英語教育研究の活動を積極的に続けています。

Contact

関西大学大学院 外国語教育学研究科

Graduate School of Foreign Language Education and Research, Kansai University

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号 Tel.06-6368-1121 (大代表)

e-mail : grd-adm@ml.kandai.jp http://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/fl/



関西大学大学院 外国語教育学研究科

Graduate School of Foreign Language Education and Research, Kansai University

Master's Degree Program
Ph.D. Degree Program

博士課程前期課程 (25名)
博士課程後期課程 (3名)

Invitation

● 私たちの学びの輪に参加しませんか！



ゼミの集いの風景

2002年に外国語教育学研究科が開設されて以来、多くの学生を迎えることができました。関西大学の学部・大学院出身者、他大学の学部・大学院出身者、社会人ならびに現職の中学、高校、大学の先生方など、その多彩さにおいては他に決してひけをとれません。

学生の国籍もさまざまです。彼らは教室や共同研究室で、日夜、教育研究活動に励んでいます。

一人ひとりがこの知的創造の場から未来に向かって歩み出します。幸い、多彩な専門分野の教授陣を揃えることができました。願いは次の世代の成長です。私たち教授陣は、大学院生の皆さんの一人ひとりを有為な人材として社会に送り出す覚悟をしています。この仲間に加わってみませんか。

20世紀は人が国境を越えて激しく動いた時代でした。人が動くということは、それにとまって大量の情報が動くということです。21世紀は人が動かなくとも情報が動く、という時代に入ってきました。今人間は有史以来最大の情報洪水時代に直面しています。おそらく現代という時代は、衣、食、住以外に情報が人間存在の生殺と奪の権を握り出した時代です。そして重要なことは、人の動きと情報の動きを支える基盤には「言葉」が存在するということです。

私たちはこの「言葉」の動きというものを、いろいろな角度から追求していかねばなりません。

私たちの学びの輪に参加しませんか！そして私たちと一緒に外国語教育学の未来を切り拓いていきましょう。

Enrollment Options

● 社会人の方にも無理なく履修していただくために、次のような制度を導入しています。

■ 昼夜開講制

授業科目の開講時間を4時限目以降に設定し、主に6時限目と7時限目に授業を展開しています。

- 4時限目 (14：40～16：10)
- 5時限目 (16：20～17：50)
- 6時限目 (18：00～19：30)
- 7時限目 (19：40～21：10)

- 土曜日には2時限目(10：40～12：10)から授業を開講します。夏季および冬季には集中講義もあります。
- 時間割表は随時ホームページでご覧いただけます。

■ 長期在学制度 (3年コース)

社会人の方や外国語関係以外の学部出身の方が、余裕をもって履修する際にお奨めの制度です。

- 1年間で履修できる単位数は少なくなりますが、2年間の授業料で3年間で在学ができます。
- 1年次終了時に所定の条件を満たした場合、3年コースを2年コースに変更することができます。

※この制度は博士課程前期課程において適用できる制度で、入学試験出願時に選択していただきます。

■ 現職教員1年制コース

現職教員1年制コースについては、Mission Statementをご覧ください。

■ 進学相談会

進学相談会を年5回実施しています。日時等の詳細についてはホームページをご覧ください。

■ 飛び級入学制度

学部卒業を待たずに、3年終了時から大学院への進学を認める制度です。外国語教員を志願する本学ならびに他大学の優秀な学部学生を対象に、早期に高度な専門的教育の機会を与えることを目的としています。出願資格等の詳細は学生募集要項をご覧ください。

■ エモリー大学への派遣 (日本語教育学・英語教育学)

修士生・在校生を米国南部の名門エモリー大学へEmory Fellowとして最大2名派遣しています。現地では日本語教育に従事しながら、エモリー大学での大学院科目も履修できます。

M.A. Program

● 修了オプション

ニーズに合わせて2つのオプションから選択できます。

■ 修士論文オプション (研究指向)

外国語教育学に関する実証的な研究論文を執筆します。

■ 課題研究オプション (実践指向)

教授場面で直面する具体的な課題の解決を図るために、実践的活動を通して教材作製などを行い、その成果・産物を研究レポートにまとめます。

● 教員免許状

所定の単位を修得することで、英語または中国語の専修免許状を取得することができます(1種免許状の取得が前提)。また、学部の教職関連科目を修得することで、ゼロから教員免許状を取得することもできます(詳細は進学相談会などでご相談ください)。

● Curriculum

演習科目
外国語教育学演習 (各領域)

外国語教育科目		
外国語教授方法論 (英語)	外国語教育メディア論	英語学習文法論
外国語教授方法論 (中国語)	外国語教育教材論 (英語)	英語語用・表現論
外国語教育実践論 (英語)	外国語教育教材論 (日本語1)	英語・英米文化教育論
外国語教育実践論 (中国語)	外国語教育教材論 (日本語2)	英語音声分析論
外国語学習方略論	外国語教育教材論 (中国語)	意味論 (日英対照)
外国語能力測定・評価論	外国語教育教材論 (朝鮮語)	日本語文法教育論
早期英語教育論	外国語教育教材論 (ドイツ語)	日本語・日本文化教育論
第二言語習得論1	外国語教育教材論 (フランス語)	日中比較語彙論
第二言語習得論2	外国語教育教材論 (スペイン語)	中国語文法教育論
第二言語コミュニケーション論	外国語教材開発 (デジタルメディア1)	言語政策論
多言語政策論	外国語教材開発 (デジタルメディア2)	朝鮮語語彙論
英語スキル論 (リーディング)	外国語教材開発 (文学作品利用)	
異文化間コミュニケーション論 (言語行動)	外国語教材開発 (語彙学習教材)	基礎研究法 (外国語教育学)
異文化間コミュニケーション論 (比較文化)		基礎研究法 (外国語分析学)
異文化間コミュニケーション論 (教育・心理)		
通訳翻訳教育方法論1		
通訳翻訳教育方法論2		

支援・実習科目		
地域言語文化論 (英国1)	外国語教育特殊研究 (授業観察1)	外国語運用実習 (英語スピーチ・クリニック)
地域言語文化論 (英国2)	外国語教育特殊研究 (授業観察2)	外国語運用実習 (英語ライティング・クリニック)
地域言語文化論 (米国)	外国語教育特殊研究 (言語教育論)	外国語運用実習 (英語アカデミック・ライティング)
地域言語文化論 (中国1)	外国語教育特殊研究 (認知言語学)	外国語運用実習 (英語プレゼンテーション)
地域言語文化論 (中国2)	外国語教育特殊研究 (言語教育環境論)	外国語運用実習 (通訳翻訳実習)
地域言語文化論 (ドイツ)	外国語教育特殊研究 (語彙習得論)	外国語運用実習 (中国語音声表現法)
地域言語文化論 (スペイン・中南米1)	外国語教育特殊研究 (日本語教育研究)	外国語運用実習 (中国語文章表現法)
地域言語文化論 (スペイン・中南米2)	外国語教育特殊研究 (日英対照研究)	外国語運用実習 (日本語表現法クリニック)
地域言語文化論 (朝鮮)	外国語教育特殊研究 (日本語音韻論)	外国語運用実習 (ドイツ語表現法クリニック)
文化交渉論 (東西文化)	外国語教育特殊研究 (日本語文法研究)	外国語運用実習 (ドイツ語アカデミックライティング)
	外国語教育特殊研究 (ESP)	
	外国語教育特殊研究 (マイクロ・エスノグラフィ)	
	外国語教育特殊研究 (授業実践論)	

現職教員1年制コース配当科目		
インディペンデントスタディ (英米文化論)	インディペンデントスタディ (テストニング・評価論)	インディペンデントスタディ (学習英文法・語用論)
インディペンデントスタディ (第二言語習得論)	インディペンデントスタディ (英語リーディング論)	インディペンデントスタディ (教授方法論)
インディペンデントスタディ (教材メディア論)	インディペンデントスタディ (コミュニケーション論)	インディペンデントスタディ (教材開発論)
インディペンデントスタディ (学習方略論)	インディペンデントスタディ (音声言語教育論)	

■ 奨学金制度

(博士課程前期課程・博士課程後期課程共通)

入学時の成績や在学中の成績をもとにした授業料全額免除や半額免除の奨学金制度があります。



Ph.D. Program

後期課程では、「外国語教育実践学」、「外国語教育教材・メディア学」、「外国語分析学」の3領域で、理論と実践を融合させながら、高等教育レベルの外国語教員の養成や、外国語教育研究の最先端で指導的役割を担える研究者の育成をめざします。

科目配置は、研究指導のための外国語教育学特殊演習と、専門分野および関連分野に関する知見・技能を深めるための外国語教育学特殊講義からなり、実践と理論、どちらにも偏らないバランスのとれた人材を送りだしていきます。

博士課程後期課程において、2012年度から9月受入れを開始いたします。

● Curriculum

演習科目
外国語教育学特殊演習1・2 (各領域)

外国語教育学特殊講義		
外国語教育学特殊講義 (日本文化論)	外国語教育学特殊講義 (外国語教育教材・メディア論)	外国語教育学特殊講義 (外国語分析論)
外国語教育学特殊講義 (異文化間教育論)	外国語教育学特殊講義 (教授・学習方略論)	外国語教育学特殊講義 (外国語意味分析論)
外国語教育学特殊講義 (応用言語学特論)	外国語教育学特殊講義 (外国語教育教材論)	外国語教育学特殊講義 (外国語音声分析論)
外国語教育学特殊講義 (異文化間コミュニケーション論)	外国語教育学特殊講義 (外国語コーパス論)	外国語教育学特殊講義 (日中比較語彙論)
		外国語教育学特殊講義 (英米文化・文学教育論)
		外国語教育学特殊講義 (音声コミュニケーション論)
		外国語教育学特殊講義 (社会言語論)



Teaching Staff

専任教員	50音順 (2011年4月現在)
氏名	専門分野
池田 真生子	英語教育学 (読解方略、教材論、自律学習、小学校英語)
石原 敏子	アメリカ文学、児童文学
宇佐見 太市	地域文化研究 (英語文化圏)、言語文化研究、文学作品利用の教材論、英語教育論・教育哲学
奥田 隆一	語法研究、学習英文法、英語学
柏木 貴久子	地域文化研究 (ドイツ語圏)、ドイツ文学
加藤 雅人	意味論、言語分析哲学、語用論、コミュニケーション論
菊地 敦子	日本語学、認知言語学、日英通訳・翻訳法研究、日英対照言語学
菊地 歌子	音声学、フランス語教授法、日仏通訳・翻訳法研究
北村 裕	認知科学 (眼球運動、リーディングの認知的研究)、デジタル教材、デジタルコンテンツ作成、コーパス作成
A.S.ギブズ	英語教育・教授法、英文法論、日本文化論
熊谷 明泰	朝鮮語学、朝鮮語教育学、社会言語学、言語政策論
玄 幸子	中国語学、中国語教育学、歴史言語学
高 明均	朝鮮語学、語彙意味論
沈 国威	中国語教育学、中国語学、日中語彙研究
杉谷 真佐子	ドイツ語教育学、異文化コミュニケーション論、外国語教育政策論 (EU、ドイツ)
染谷 泰正	通訳翻訳論、ESP、言語情報科学
高橋 秀彰	ドイツ語教育学、社会言語学、言語政策論、発音教育論
竹内 理	英語教育学 (学習方法論、学習者要因)、教育メディア研究 (e-Learning、教材作製)、小学校英語教育、テストニング
田尻 悟郎	英語授業実践学、英語科教科教育法
鼓 宗	中南米文学、スペイン語
名部井 敏代	第二言語習得 (Recast、教室談話分析)、TESOL
西川 和男	中国語学、中国語教育学 (音声教育、教科書作成)、第二言語習得研究
A.J.ハント	応用言語学、語彙習得論
A.J.パーク	社会言語学、応用言語学、日英対照言語学
平田 渡	スペイン・中南米文学および言語文化研究、日西翻訳法
福井 七子	地域文化研究 (日本文化)、日本文化論の史的・研究、言語文化研究、ルース・ベネディクト研究
水本 篤	英語教育学、言語テストニング、語彙習得
望月 通子	日本語教育学、日本語学
八島 智子	応用言語学 (情景要因)、言語とアイデンティティ、異文化間コミュニケーション研究 (異文化接触と言語使用)
山崎 直樹	中国語学 (談話の構造)、中国語教育学 (Back ward Design)による教材設計
山根 繁	英語音声学、音響音声学、リズム・イントネーション研究、音声・リスニング教材作成
山本 英一	英語学、語用論、意味論、談話分析、学習文法、語法研究、英文法教育、コーパス研究、語彙文法研究、認知言語学
吉澤 清美	英語教育学 (リーディング、リーディング方略の発達、語彙の発達)、外国語教育測定・評価研究 (テストニング、カリキュラム評価)
吉田 信介	英語教育学 (リーディング)、教育工学 (デジタル教材作成・e-Learning)、国際協力
和田 葉子	中英語英文学、英語史、西洋中世写本学

専任教員 (兼任)	50音順 (2011年4月現在)
氏名	専門分野
内田 慶市	中国語学、中国教育学
奥村 佳代子	中国語学、中国近世語研究
カイト 由利子	社会言語学 (言語接触、言語選択、バイリンガリズム)、第二言語習得研究 (中間言語語用論、第二言語習得理論)

非常勤講師	50音順 (2011年4月現在)	客員教授	50音順 (2011年4月現在)
氏名	担当科目	氏名	担当科目
赤野 一郎	D外国語教育学特殊講義 (外国語コーパス論)	G. カスパー	D外国語教育学特殊講義 (応用言語学特論)
太田 洋	M外国語教育実践論 (英語)		
齋藤 栄二	M早期英語教育論		
佐藤 滋	M外国語教育特殊研究 (日本語音韻論)		
塩路ウルズラ・エリカ	M外国語運用実習 (ドイツ語表現法クリニック)		
	M外国語運用実習 (ドイツ語アカデミックライティング)		
	M外国語教授方法論 (英語)		
	D外国語教育学特殊講義 (外国語音声分析論)		
	M外国語教育特殊研究 (ESP)		
	M外国語教育特殊研究 (言語教育環境論)		
	M外国語教育特殊研究 (マイクロ・エスノグラフィ)		
	M外国語教育特殊研究 (日本語文法研究)		
	D外国語教育特殊講義 (外国語分析論)		

※Mは博士課程前期課程、Dは博士課程後期課程を表します。

外国語教育学会

研究科の修士と教員で構成される学会で、講演会や研究大会などを行うほか、メーリングリストやホームページを通じて、最新の研究情報などを提供しています。

- D/Mの演習指導教員についてはホームページを参照してください。
- 各教員の担当科目はホームページで公開しています。

Admissions

※入学試験の日程や相談会の日程はホームページに掲載しています。一般入学試験のほか、外国人留学生入学試験、社会人入学試験および飛び級入学試験も実施します。詳細に関しては学生募集要項をご覧ください。

M.A. 前期課程では

筆記試験：100点 (受験生の母語・母国語以外を選択)

英語、中国語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、朝鮮語の各言語から1つを選択し解答する筆記試験

- フランス語、スペイン語の各言語を選択した場合、50点分が英語の試験となります。
- 外国語試験の言語の選択は出願時に行います。

- 外国人留学生入学試験の場合は、外国語試験が日本語になります。
- 所定の外国語資格・スコアを有する者は、**当該言語の筆記試験を免除します。**

※免除条件の詳細については学生募集要項をご覧ください。

口頭試問：200点

外国語教育学に関する予備知識及び外国語口頭運用能力に関する面接試験

- 出願時に提出する研究計画書 (日本語2,000字以内) や志望動機、将来の進路などについて質問します。
- 社会人入学試験では、社会での経験についての質問事項が加わります。

※詳細については学生募集要項をご覧ください。

Ph.D. 後期課程では

筆記試験：100点 (受験生の母語・母国語以外を選択)

英語、中国語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、朝鮮語の各言語から1つを選択し解答する筆記試験

- 前期課程と同様の方式で筆記試験を行います。また、前期課程と同様の**外国語試験の免除**があります。

※免除条件の詳細については学生募集要項をご覧ください。

口頭試問：200点

● 外国語教育学の専門知識、修士論文の内容、ならびに出願時に提出する博士論文研究計画書 (日本語で2,000字程度) などに関して面接試験を行います。

※詳細については学生募集要項をご覧ください。